

「中学校 特別支援 学級のねうち」

埼玉県鳩ヶ谷支部

小林幸雄

- 1、進路で問われるもの・・・出口でこそ、特別支援学級の存在意義が問われる。
 - ・ 「これからも、普通の授業がうけたい。」
 - ・ 「居場所が見つかった。」
 - ・ 「体育館とプールがほしい。」
 - ・ 「高校生と友達になりたい。」
 - ・・・こんな卒業生が誇りだ。
 - ・・・中学校 特別支援学級からの進路先の多様化
制度＝養護学校高等部・高等養護学校・県立普通高校内養護学校分校
専門学校＝通信制高校への支援
- 2、教育課程と交流・共同学習
存在意義は教育課程で決まる。
時間割に示されたもの・・・教科論
A教科
 - ・ 大好きな体育。・・・みんなが参加できる教材の発見。ユニバーサルなもの、そうでないもの。
 - ・ 国語＝中学3年の教科書にある詩「」を、みんなで読みたい。生徒の提案教材。・・・学年配当にこだわらない。
 - ・ 社会科＝社会認識こそ、はずせない。奴隷にならないために。しかし、「きらい」「鉛筆をおる」ところからの出発。
 - ・ 家庭科もいいね＝調理実習を隔週で。家庭科の先生の授業も。「生活に役立つ内容を取り上げてください」－洗濯入りやすく、おもしろく、価値のあるものを。B全ての教育課程へのある視点
交流・共同学習の占める位置
C教科外教育の重要性
合宿・・・校外学習としての質＝社会の中で学ぶ。
出会いを広げる。
D保護者へのアピール
楽しくて、ためになり、育っていく学校づくり。
- 3、特別支援学級の社会認識教育の全体像と社会科
教科・教科外 特別活動 絵がかりでという道と、
その中での社会科の役割
- 4、憲法学習への道
何でも憲法に結びつける。権利という言葉の実態 当たり前のこと
- 5、再び教育課程へ
さまざまな生徒がやってきた。みんな、いらっしやい。
あなたと私とみんな。

07 進路探求の断面

1、職場体験 2年次

作業所（公立・民間）・保育園・動物病院

- ・多様化（作業所を選べる主体＝軽度の生徒の存在）

2、進路の選択の多様化

昨年度からの広がりの中で

筑波大付属大塚養護学校

説明会への参加、そこから見えてきたもの

（少ない募集人数・大学とのかかわりの豊かさ・アフターケア）

「中身は川口養護と同じですね」「通学が大変」

さいたま桜高等養護学校

説明会への参加・そして就職100%をめざすという教育課程

越谷西養護学校に進学した生徒のその後はどうなっているのか

（その路線の徹底化では、問題は解決しない）

「この学校は、私に合わない」

「袋小路みたい」

「通学の手間・時間・経済的な負担」

「体育館・プールがない」

草加西高校内 三郷養護学校分校

説明会への参加・相談会への参加そして

「高校生との交流への期待」

「自転車でいける」

「中学のような勉強ができる」

川口養護学校

説明会・体験入学・地域にねざす豊かさ（交流の厚み）

- ・丁寧な情報交換・地域支援・交流（文化祭の平日開催も・運動会）

- ・居住地校交流など

「ぼくの居場所があった」「歩いて通学できる」

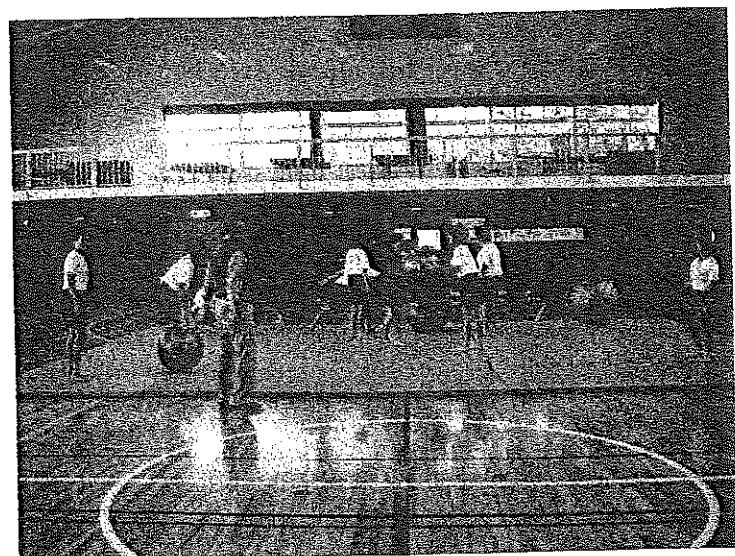
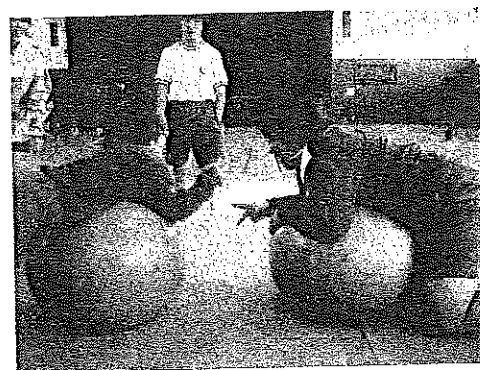
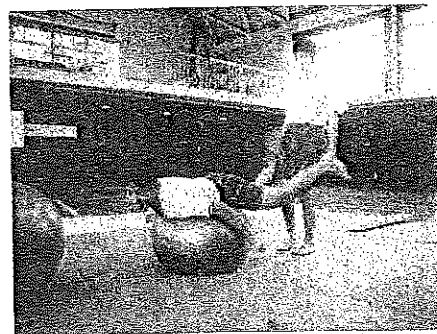
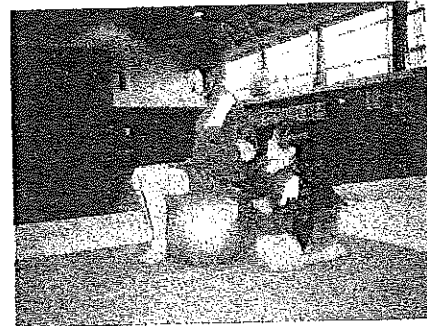
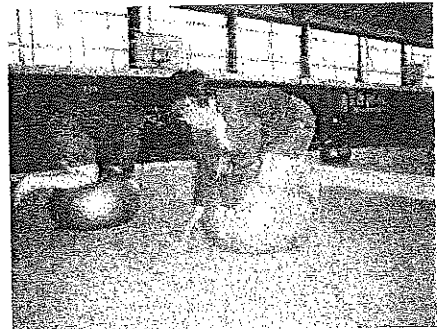
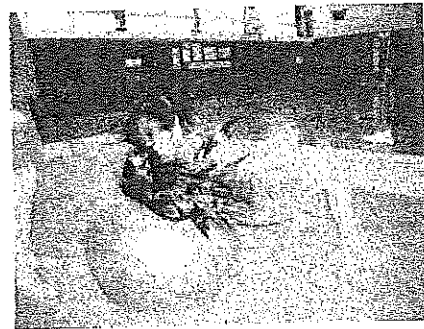
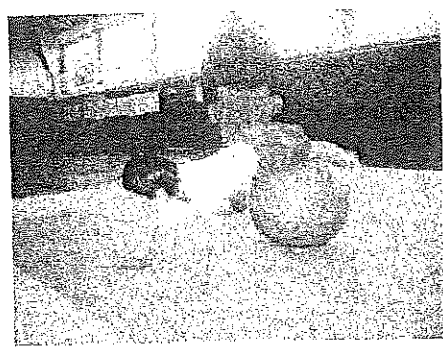
私立高校や、専門学校（通信制高校の履修支援・不登校であった生徒への支援）

※薄い黄色に塗りつぶしているセルに、教科シートのコードマスターに設定したコードNOを入力します。
コードNOに対応した教科名が、コードNOを入力した真下のセルに表示されます。
入力されたコードNOがコードマスターに登録されていない場合は、未登録と表示されます。
なお、入力したコードNOのフォント色は、セルの塗りつぶしと同じ薄い黄色に設定されています。

H20年度 複式学級 2学期時間割表

	月	火	水	木	金
総合学習	朝読書				
1時間目	2年音楽(TT井上)	学活	3年音楽(TT渡辺)	国語 数学	調理 図書
	生活 渡辺		生活 井上		
2時間目	美術 柴	国語 数学 小林・渡辺・井上	TT渡辺	体育 小林・渡辺・井上	調理 図書 小林・渡辺・井上
			音楽 山際		
3時間目	体育 小林・渡辺・井上	国語 数学 小林・渡辺・井上	国語 数学 小林・渡辺・井上	国語 数学 小林・渡辺・井上	生活 渡辺
4時間目	音楽 渡辺	体育 小林・渡辺・井上	TT渡辺	1年音楽	社会 岡田
			英語 ナジ	生活 井上	
5時間目	TT渡辺	TT渡辺	たいこ 小林	国語 渡辺	体育 小林・渡辺・井上
	家庭科 手塚	家庭科 手塚			
6時間目		TT井上	技術 小林・井上		基礎トレ
		家庭科 手塚			
		基礎トレ			

教科=体育の場合



体育の授業の流れ

ラジオ体操・ストレッチ・5分間走・筋力トレーニング・足裏運動・その日のテーマ体育
 その例=バスケットボール・ソフトバレーボール・卓球・バドミントン・ダンス・縄跳び・
 バランスボール・ドッジビー
 バランスボールとの出会い=全員参加・全員発達・相互学びあい

1、今年度の活動内容

- 1, 自立の基礎である健康の増進と体力の向上を目指して、毎日体育の授業（たいこを含む）（週5時間）を設定した。
- 2, 国・数など学力の基礎の充実をめざしつつ、社会科や理科、家庭科などの領域の学習をすすめ、はば広い教養を身につけられるようにした。
- 3, 音楽や美術など、芸術的な教科も重視し、人間の文化的な力の形成をねらった。
- 4, 自立を見通し、生活に根ざした学習活動を重視した。
 調理実習の充実と結びつけた買物、食の教育を通しての健康管理、環境整備（そうじなど）、余暇の過ごし方、作業学習（カワガキ作りなど）、公共機関（図書館・交通機関など）の利用の仕方、集団生活のルールの理解など
- 5, 自立活動の充実
 個別の指導計画を作成し、健康の保持・心理的な安定・環境の把握・コミュニケーションをはかる。
- 6, やさしい心もち、場に応じたコミュニケーションをとり豊かな表現力を培う活動をおこなう。
 ことば使いや、あいさつ、マナー、仲間づくり、生徒会（委員会活動）への参加
- 7, 情報化、国際化などの社会の変化に応じた学習活動を取りあげる
 パソコンを使った学習、インターネットの利用、AETによる英語の授業、ニュース・新聞を使つての学習
- 8, 進路指導の充実
 個々の希望に基づき、具体的な進路について調べる活動や職業体験などを通じて、自らの進路を切り開く活動をすすめたい。

2、1年間の主な流れ

- 4月8日・ 入学式 保護者会①年
- 11日 身体測定
- 4月16日 保護者会全学年
- 18日 離任式

障害児教育に「社会科」を

1、私の3つのこだわり・・・探求の課題は残されたままである。

①障害児学級においては、教育課程の「教科」として「社会科」をおくべきだという立場。「生きる力」を形成することが教育の課題だといわれる。しかし、「生きる力」の形成には2つの方向があるようだ。短絡的に就職と直結していく方向と、基本的な教養を重視する方向の2つが。ともに、生きる力を考えているが、どこに分岐点があるのか。2に示す、「適応」としての社会性の形成に限る傾向と、主権者としての力＝社会力の形成を視野におく立場のちがいが。後者は、日本国憲法の人権・国民主権・平和を、教育の基本におき、そこから社会認識の課題を教育課程に設定することが必至であるという立場である。

②そして、その社会科は、障害児の発達段階を考慮して、小学校社会科のある段階の内容を学習しようというのではなく、あくまでも中学校の社会科を構想する。ここでの中学校社会科の内容は、3分野（地理・歴史・公民）を意識し、主権者としての力を形成するというもの。それは、どういう社会科なのか。中学3分野の単なる省略体ではなく、ひとまとまりの知識群。地域にこだわり、日本・世界に突き抜ける。歴史は世界史のなかの日本史。政治・経済・社会の領域は、日本国憲法の3原則の理解に資するものとして、構成する。

③また、社会認識の教育が可能な領域を全教育課程の中に見出し、どこでもそれを追求するという立場。いいかえれば、社会認識の形成を総合的にすすめるということ。具体的には、他の教科の中で、特別活動の中で、校外学習の中で社会認識を考えるとということ。

2、社会認識・社会性・社会力についてのノート

社会性の定義・・・

A 「個人が存在する社会のなかにあるルールやふるまい方を身につけ」「自分らしく生きていくこと」。「社会化」と「自己形成」（一松麻実子著『人と関わる力を伸ばす』）

B 「社会の中でうまくやっていく術にたけていること」「社会に適応する術」
（門脇厚司著『子どもの社会力』）

社会力・・・

よかれと思う社会を構想し、それを作り、運営し、その社会をさらに良いものに変えていく力。その下地としての「十全な他者認識や他者への共感能力」。
（門脇 前掲著）

社会認識・・・

社会の本質を十分に理解し、その物と他の物とをはっきり見分けること。その知識とそれをつかむ過程。その深さ・高さを問う用例あり。（『明解国語辞典』）

第4版より構成)

以上から、次のような相互関連を考えた。

【社会性⇔社会認識】→【社会力⇔社会認識】

(注) 社会性・社会力には、それぞれに見合った社会認識がある。

ここで、「見合った」というのは、社会認識の量だけではなく、量とともに質が関係しているという把握がある。この把握から、教育の課題を引き出すと、社会力形成に必要な量と質をもった社会認識が存在し、それをさまざまな教育の場で養うことを課題ととらえる。

また、社会性は不要ではなく、社会力へ突き抜ける必要がある ととらえる。「適応」の側面を軽視してはならないと考えるからです

(06824・07701補正)

3、社会科の模索・・・

この5年の取り組みには以下の4つのパンターンがあった。

第1型 中学社会科の内容を学習方法の工夫で

①日本地理・・・地方区分（地図や絵本）県名や都市名を意識する。

産物地理的な展開を行うが、途中から調理実習であつかう食材と関連させる。

例、いわし→九十九里のイワシ漁（物語教材）→「魚の歌」→いわしのつみれ汁（調理実習）

・香川県→讃岐うどん→手打ちうどんづくり（調理実習）

・埼玉（給食でのさきたまロール）と、関連させての学習。

②歴史・・・時代ごとに、加古里子の絵本で学習。人物史はまんが日本史を教材にして学習する。生徒が持ちこんだ絵本「ひろしまのピカ」（丸木俊作）を読む。絵本の有効性を意識する。また、時代名のカードをつくり、その順序や、時代にイメージとの組み合わせを何度も繰り返した。

③公民・・・戦争と平和の学習として、イラク戦争前夜の状況と関わってすすめる。そこでは「戦争と平和の絵本」を使った。

憲法学習として「日本国憲法の前文」の読み込み、キーワードのカード化、ニュースや典型的な事例をもとに、キーワードの理解を深める学習の展開。

以下の計画は2003年度のもの。

- 1、戦争をなくすにはどうしたらよいか。
- 2、君は、戦争に賛成か、反対か。
- 3、国連は役に立つか。
- 4、イラクとアメリカは、何でもめているのか。
- 5、再び国連。何を話合っているのか。(国連学習は絵本で)
- 6、日本の立場。憲法と小泉さん。前文の第1段落、9条を読む。
- 7、戦争の歴史(15年戦争、日清・日露戦争)
- 8、どうしたら戦争をなくせるか。(世界的な反戦運動にもふれる)

第2型 学習方法から、内容の再編へ

(1) 調理実習や調べ学習から、食(=社会的なかかわりをもつもの)を学ぶ

家庭科(調理実習)・・・隔週2から3時間

生の素材(魚、肉、小麦粉)を使って手作り(うどん・ぎょうざの皮・いわしのつみれ)の料理をめざした。その取り組みの中で社会科との関連を意識する。また、米にこだわって、「生活」単元での学習と結合して展開した。(カレー・キムチチャーハン・おにぎり・もち・玄米でおにぎり・オムライスなど。)

・・・食は第4型に再度でてくる。そこでの扱いは変化している。

(2) 時事問題を扱うことで、社会を学ぶ

イラク戦争を扱うことから、公民の内容へ。「戦争をどうしたらなくせるか」という課題学習に取り組み、憲法の平和主義の学習にすすむ。

(3) 社会科の時間だけでなく様々な教科との結合を意識する。

国語教材の中に、社会認識にかかわる教材がある。

第3型 小学校の社会科から学ぶ

低学年社会科・「生活科」や中学年の社会科の歴教協の実践から学ぶものが多かった。

①学校調べ(これは、年度当初に必ず取り組む)

学校探検と地図づくり、学校で働く人へのインタビュー・発表会

②地域調べ

地図学習の発展として、また校外学習の事前学習として、学ぶ。

お店調べ、「さきたま古墳群」や「秩父事件」を学ぶ

地域の戦争遺跡の学習

第4型 社会認識の形成を様々な場所で(総合学習?)

様々な学習活動を、社会認識形成につなげる。

(1) 家庭科調理実習の食材は、以下がふくまれる。

- ① 肉を使った料理(豚肉・牛肉・鶏肉)
- ② 魚を使った料理(さんま・さけ・かつお・いわし・あじなど)
- ③ 穀物を使った料理(大豆・米・麦・そばなど)

④ 野菜を使った料理

そして、その生産・流通・安全・価格などについて、地理的・歴史的・公民的なアプローチをおこないつつ学習の成立を試みる。

(2) 生徒会活動・・・自治活動の主体形成(主者形成の基本線)また、この領域は通年の課題である。

①要求の掘り起こしから。議案書の討議とからめて、要求を引き出し、質問や意見としてまとめた。そして、総会での意見発表者を決め、その準備として、発言の練習などを積み重ねた。

②当日の発言と生徒会の対応。その結果、代議員会を通じて、全校クラス討議が実現した。

③給食委員会や、清掃美化委員に参加する。

4. 社会認識の内容への私見

(1) 社会認識の形成・・・社会認識の基礎的なイメージ(私案)

- ① ひとびとのかげに好奇心を持ち、知ろうとする。
- ② 自分と他人、ひとびととのつながりを知り、違いや区別がわかる。
- ③ つながりには、様々なあり方があることを知る。
- ④ つながりの総体(社会)について意識する。
- ⑤ 社会には、色々な事件がおきていることを知る。
- ⑥ 事件のおきる「わけ」があることを意識する。
- ⑦ 社会への価値判断(正・不正、良・悪、益・害、好・悪など)を、事実にもとづいて行う。
- ⑧ 社会には「うそ」というものがあることを知る。
ここから、「うそ」は悪いという価値を学ぶのではなく、「うそ」の社会科を学ぶ。
- ⑨ 社会には時間(歴史)があり、社会生活が展開している空間(自然・地域)がある。

(2) 社会認識の意味・・・人間にとって社会認識とはどういう意味をもち、どういう機能を果たしているのか。すべての人間はある社会認識を持っている。それはすべての人間が社会的な存在だし、社会的な関わりの中で人間になるからです。

(1)へのコメント

- ①他への好奇心・・・おもしろい他者・めずらしい他者の発見
- ②つながりの発見、関係を発見しよう。あなたと私、私と彼、どうつながっているのか。
《ちがひ》の発見、《違い》の前提は、《同じ》の発見がある。《同じ》から《違い》へ。
- ③つながりをたくさん発見する中から、つながり方の違いがわかってくる。そこから、様々なあり方が見えてくる。様々な性は、一定の整理のうえに、型のようなものが見えてくることを意味している。ただいろいろあるというとは違う。量の中に質を発見しているのだ。
- ④ 総体が見えてくるとは、どういうことか。ここではさらに、単なる量の集積ではない。さらに、質の見極めが必要になる。どういう質、様々な関連、様々な関係、矛盾、闘争、調和、妥協、合意。

⑤ 事件とは、日常生活の繰り返しとは異質なもの。生命・財産・人権の侵害としてあらわれる。

⑥「わけ」をつかむことには、原因と結果＝因果関係や理由を問い、答えるという経験の積み重ねが必要だ。日常の生活の中でそれがどう積み重ねられているか。学校でも。問答無用の精神では、このみちは切り開けない。

⑦この社会では、倫理的なものは存在しているのか。「何でもあり」を批判する規準自体が揺れている。「何でもあり」な状況に一番責任を持つものは誰か。教育者の社会認識が問われている。日本国憲法を貫く歴史性の理解。

⑧根本的な「うそ」は、どこにあるのか。

⑨社会事象の展開の条件。具体的な社会の学びは、このレベルでおこなわれている。

5、実践の断面

(1) 戦争学習は平和学習だ

2003年障害児学級におけるイラク戦争の戦前学習

「戦争をなくす方法を考えよう」というテーマ学習を1月末から、週2回の社会科で追求した。その中で印象的な表現を以下に紹介したい。

1月30日 戦争をなくす方法を考える。

A ・ケンかをしないで歌う。

・人はいじめないで仲よく。

・おいしいものを食べる。

* うんこをする。うんこをし終わったらおならプーをする。

・戦争をしないように普通の服に着替えてしごとをする。

・人を殺すより子どもを作ってください。

・買い物にも行ってね。

・家電製品を買ってください。

B ・ケンかをしないで魚の歌を歌おう。

・人をいじめないで仲良くする。

・みんなではらっぱい食べよう。

・みんなで気持ちよくウンチをしよう。オナラをしよう。

・ひたすらにげる。

・たたかわないで会社に行って仕事する。

・武器はすてる。

これは、同じ授業に参加した生徒2人の授業メモである。「戦争をなくす方法には何があろうだろう」ということで、いろいろ意見を言い合い、わたしも突っ込みをいれたりしながら、まとめて板書したものを見て、生徒がそれぞれメモしたものである。

その後、2月3日に別なグループで話し合ったら、以下のような内容が出された。

・小泉さんが、ブッシュさんを説得する。

・小泉さんに、ブッシュさんを説得するように私達がお願いする。

・色々なところで、色々な人が反対の声をだす。

世界的な反対運動の波動が、このクラスにも及んでいる。また、ここでの話し合いには、イラクをめぐる具体的な状況がふまえられている。しかし、そのような具体性が欠けているからといって、上記A・Bの文を否定的にとらえる見地にたつものではない。A・Bの味わいを貴重なものと思うものである。

3月18日に「平和とは何か」という問いに、「朝寝坊できること。友達とあえること。マイペースでウンチができること。大きな風呂にゆっくり入ること」などを出し合った。アメリカのイラク侵略はその2日後に始まったのである。そして、空爆は確実にイラクの「平和」を奪うことになった。

(2) 地図学習は基本のひとつ

1、学校の校内地図づくり(校内探検をふまえて)

2、自分の家までの地図(順路図)

3、市内の地図(自分の家・公共的な建物・道路などをてがかりに)

* 4、県・地方・日本・世界図を教室に常に掲示し、参照する。

コメント：1・2は自ら地図をつくる課題である。そこで問題になるのは客観的な表現の獲得にどう接近するかだった。そもそも地図にならない生徒もいる。集団での話し合いの中で、つかめるところも出てくる子もいる。道路の表現の仕方を、他の生徒の地図から学び、次に描くときに取り入れる子も出てきた。

3で、方位・距離・地図記号の一部を学ぶ。2の地図の客観性がさらに確かめられる。

(3) 「合宿」＝宿泊学習から

①合宿は中学の場合3年で1サイクルと考え、筋の通った内容を考えようとした。埼玉を基点に関東へ視野をひろげ、以下のことを考慮した。自然の多様性・歴史・さまざまな産業・人々との出会いなど。そのような視点で学習をくみ、最後にまとめの発表会を開く。具体的には、次のような内容の合宿を行なった。

1年目 富士山、河口湖、甲府盆地のぶどう、箱根の関所、小田原城

2年目 埼玉の歴史と自然、埼玉古墳、秩父吉田町＝秩父事件、長瀨、荒川、そばづくり、養蚕

3年目 千葉の海、犬吠崎、銚子の魚市場、九十九里浜、船橋三番瀬、千葉港、冷凍倉庫

4年目 富士山 富士五湖 火山性地形(こうもり穴など) 勝沼ぶどう狩り

5年目 埼玉の歴史・自然・産業 さきたま古墳 丸木美術館 川の博物館 牛乳工場
こんにやくづくり みかん狩り

6年目 神奈川の海・・・別紙参照

生徒会活動への参加を通じた交流・共同学習の展開

鳩ヶ谷市立鳩ヶ谷中学校
小林幸雄

1、鳩ヶ谷中学校における特別支援学級の現状

- 特別支援学級（以下クラスという）＝知的（4人）・情緒（3人）の2学級
1年1名 2年4名 3年2名
- スタッフ 3名一本採用 2名（1年目・4年目＝育児休業中） 再任用1名（7年目）
通常各学年4学級
- 1年1名 2年4名 3年2名

2、交流教育・共同学習の全体像

- 各学年に交流学級への籍あり
- 通常学級の授業への参加（音楽科の授業へ）
- 通常学級の教員のクラスの授業指導＝音楽・理科・家庭科・美術・社会
（逆に、クラスの教員が社会科1学年6時間の授業担当）
- 行事への参加 1、学年集会や学年行事へ交流学級の一員として参加（球技大会・校外学習・林間学校・修学旅行など）
2、全校行事（運動会＝クラスで参加と交流学級への参加、全校朝会＝交流学級へ）
3、生徒会（生徒総会＝クラスとして、代議員会＝クラスとして、給食委員会＝クラスとして、学習発表会：文化祭＝クラスとして、卒業生を送る会＝クラスとして参加）
- クラスへの招待 1、交流給食
2、交流もちつき大会
3、学習発表会クラス展示
- ねらい＝中学校の生徒の一員として、あたりまえの教育をうけ、あたりまえの権利を行使し、生徒同士対等で同権の存在として位置づくように中学校の教育課程をつくる。
- 川口養護学校との交流
①同校 文化祭への参加
②居住地校交流学习 年3回 1、音楽・体育 2、特別活動（もちつき）
3、太鼓・学級活動

3、生徒会活動の位置づけ

- こどもの属する集団の自治力を形成する場。
- 社会性を涵養する場。
- 交流・共同学習実践の場。
- 文化的な力を示し、交流への主体として全校集団のなかに登場する舞台。
- 同じ発達課題をもつ生徒としての共感を形成する場。

4、取り組みの実際

I、生徒総会への参加（春秋2回・・・生徒会自治の担い手として登場）

- ①、課題 生徒会の議案書を討議し、質問や意見の形成をめざす。その成果をもとに、生徒総会への実質

的な参加を可能にし、生徒の主権者形成への一歩にしたい。

②、教育課程と指導計画

保護者会資料において「今年度の活動内容」8点を提起した。

そのうち、4「自立を見通し、生活に根ざした学習活動の重視」と6「やさしい心を持ち、場に応じたコミュニケーションをとり、豊かな表現力を培う活動」に関わる。

そのための活動は、ア、春と秋の生徒総会に向けた活動。イ、毎週の委員会活動（直接的には給食委員会のみ）と学級活動の2つである。そしてアは以下の過程が含まれる。

- 1、生徒会の役員選出過程（演説会・投票など） 3時
- 2、生徒総会への議案書作成過程（給食委員会参加）
- 3、議案書の討議と意見・質問の形成過程 3時
- 4、生徒総会への参加（総会で、全校規模での討議への参加） 2時
- 5、諸決定の検証過程

③、どういう力が必要か。どう力を形成しようとするのか。

読む力・理解する力・討議する力・質問を考える力・意見を持つ力・自分の意見を発表する力。これらの力は、日本国憲法にいう主権者としての国民の形成に必要な力に連なることを明示しておきたい。また、子どもの権利条約にいう「意見表明権」に連なる。さらに、「社会性とどまらず社会力を」という主張とも関連する。

④、全ての生徒が、全校生徒の前にたち、マイクの前で、発言をし、発言者の横に立ることが出来た。

⑤、質問・意見の例示

- 生徒会本部総括について 小学校訪問で何をしましたか。
- 生徒会本部方針について 募金活動は、中国やミャンマーの被害者への救援募金はしないのですか。
- 同上 昼の放送のリクエストはどのように取るのですか。
- 清掃美化委員会方針について トイレがくさいのですが、消臭剤以外の対策は考えないのですか。
- 生徒会予算について 行事費20万円は何に使うのですか。

II、学習発表会への取り組み（文化の主体として登場）

- ①ステージ発表 1昨年 合唱・・・毎週1時間のクラス独自の音楽の授業をもとに
昨年 太鼓の集団演技（全員参加）・・・毎週1時間の太鼓の時間をもとに

- ②教室展示 作品展（美術作品） ともに作ろう針金細工＝生徒参加型（＝交流）の展示（毎年恒例）

5、再び全体像を考える

- ① 楽しく、生き生きとした学習の場として、クラスが存在するのか
- ② そこで育ちつつある生徒が、内（中学校）と外（地域）へと積極的にかかわりを持つようとするか
- ③ 学校の教職員が、教育的なかわりを、全ての生徒ともっているのか
- ④ クラス担当の教員が、学校全体への視野と、少なくとも中期的な積み重ねを視野において実践が来ているか。またそのことが可能なクラスのスタッフであるか。（臨時採用の比率、本採用でも5年は継続できているか）

07 複式合宿のコース細案 (最終案)

10月2日(火) 7:30 集合次第 出発式 司会・挨拶・注意
 8:00 出発=バスの中での過ごし方、最初に「朝の会」1人1人の合宿に期待することの弁、レク・スピーチ
 10:00 大黒ふ頭 ガイド2名(世古・後藤さん) =あいさつ
 横浜港(大黒C-4) コンテナターミナル
 横浜市中区山下町2番地 横浜港埠頭公社業務部経営課 星さん
 FAX045-671-7289 TEL045-671-7290

質問 大黒ふ頭の名前の由来・主な貿易品の種類

横浜港の全国ランキングは?

11:30 昼食(横浜中華街) 招福門(中華街 南京シルクロード) クーポンあり

横浜市中区山下町81-3 TEL 045-664-4141

駐車場からの案内がてる 飲茶ランチコース2000円

質問 飲茶の種類はいくつ? どのような物があるか? 点心(おかし)の種類?

13:15 山下埠頭から マリンシャトル(Tel045-661-0347 ポートサービス)

クーポンあり 船で、港の様子を見る。何が見えるか。何をみせるか

課題 見たものの名前の確認 埠頭の名前

14:30 三浦海岸の砂浜にのびるか

15:45 三浦水産技術センター(046-882-2311) 三浦市三崎町城ヶ島 養老子

16:45まで・挨拶(小林義幸) 講堂で話・スライド 亀井さん
 展示室へ、いけすで、餌やり、稚魚などを、見る
 タッチプールで魚に触れる

3つの質問 放流のタイミング・赤潮について・金目鯛の生態

上田 前田 小林

17:00? 宿舎へ 民宿 鈴清丸 三浦市南下浦町松輪間口552

TEL046-886-1443

あいさつ(愛巳)入室 荷物の整理・・・入浴(光季・愛巳が優先)
 浴場が狭いため、6時まで何人は入れるか判断する。

民宿のもつ船の見学(その場で女将に連絡して許可もらい、見方を教わる) いついくかは、その場の判断

部屋割り) 5部屋確保 校長1 男子2 女子2

18:00? 夕食 いただきますーごちそうさま

夕食後 漁船についてのレクチャー(ご主人による)

質問 どういう魚がとれますか・漁法・いつとりますか

漁業の苦勞は何ですか?

19:20 入浴(続き) 宿舎レク(場所と時間の指定)・荷物の整理・日記の記入・就寝準備(ふとん・歯みがきなど)

21:00 就寝

3日(水) 6:00 起床・荷物の整理・散歩・・・港・磯・砂浜

7:00 朝食・・・いただきますーごちそうさま・トイレ

8:00 宿舎出発 あいさつ(愛巳)

9:00 みさき魚市場見学(ガイドなし)

TEL046-882-1111 内線334 FAX046-881-6667

三浦市三崎5-245-7 南北144 一部7階建て

駐車場管理者へ10分前に連絡 046-881-6721

受付 2階入り口管理事務所へ

課題 魚の種類を確認

10:00 水産物加工場(長井水産046-858-1020) 見学(1時間弱)

横須賀市長井5-24-7

嘉山さんか亀田さんが案内 挨拶(小林義幸)

加工の現場は、ガラス越しに見る。直接みられるのもありか

工場の人に質問可能なので、準備。

質問 加工品の種類? 原料?

11:00 ソレイユの丘で遊ぶ

11:30 昼食 ハンバーグ定食(クーポン) カフェテリアレストラン

プロヴァンス・横須賀市長井4丁目地内 TEL 046-857-2500

12:30 出発

13:00 ペリー記念館見学 入館無料・横須賀市久里浜7-14

TEL 046-834-7531

課題 ペリー来航の様子

14:00 出発

17:00 学校着 解散式 あいさつ 生徒は一人一言 さようなら

分担: 渉外 小林、生徒の行動指導 田中、レク・海・陸遊び 藤平、ビデオ撮影 石井。

複式学級社会科学学習指導案とその実施による書き込み訂正

2008年2月7日(木) 第5校時

生徒：3年 男子3名 女子2名

1, 単元名 公民 憲法を学ぶ

2, 生徒の状況

《気になる章》

- 男子 3年 A男・・・言葉が多く、大人との会話あり・・・第2章戦争の放棄
 B男・・・自閉的な傾向強い。大人びた会話・・・第9章改正
 C男・・・言葉が少ない。どもる。文字情報苦手・・・第5章内閣
 D女・・・言葉の的確さ、読解力有り・・・第5章内閣
 E女・・・攻撃性、勘はいいが、ことばが少ない・・・第1章天皇
 2年 F男・・・こだわり。・・・第4章国民の権利及び義務
 1年 G男・・・こだわり、ことばの多さ、ニュースも観ている。第10章最高法規
 H女・・・ニュースは観ない、新聞はとっていない・・・わからない
 I女・・・ニュースは観る。大人からの情報を受入。8章地方自治

3, 単元について=憲法学習の構想

- (1) 導入 ①みんなに憲法についてインタビュー
 ②テレビニュースから、憲法との関係を調べる
 映像：政治・経済・社会のニュース
 「中国産の餃子」毒物の問題
 ③新聞や週刊誌などの映像から、パネルをつくり、それと関わる「憲法の言葉」を引き出す。
 ④毎日憲法を出会う。生活の中で憲法と出会う。
 第13条=個人として尊重。生命、自由、幸福追求に対する権利の最大尊重。公共の福祉。から、社会権(生存権・教育権・労働権)への展望。

(2) 単元の計画

- ①, 結婚と憲法・・・どうい関係があるか。
 第24条=いくつかのキーワード(両性・合意・夫婦・同等の権利)・・・盛り上がる
- ②, 憲法の条文の形式的な側面の学習
 その構成 前文 全部で何条ある? 何章ある? 章の名前
ワークシートを使う
- ③, 章の名前の正誤訂正・・・自分のお気に入りの章は何?そしてその理由
 ・・・・地方自治から鳩ヶ谷と川口との合併をめぐる賛否の議論。
 章の名称をすべて誤まりのリストを資料として用意した。それを正させる。
- ④, 第1章・・・国民と天皇か、天皇と国民か
 天皇 写真から天皇・皇族のこと。
 第1条の解説 象徴・地位・国民・その総意・主権。

天皇の仕事(国会の召集・総理大臣の任命など)昭和天皇と平成天皇のちがいがい。
 あるいは**昭和天皇の喪身(軍服姿と平服と)**。大日本帝国憲法と日本国憲法の違いの示唆。
 皇室関連の財政の資料も用意し紹介した。

⑤, 第1章から第3章 主権者と基本的人権=国民とは(3時間)

- 1, 名前を確認し、好きな章の名前をカードに書き、ロッカーのドアにはる
 ::::この部分は章名になれさせるためである。・・・本時
 国民主権へ 偉い人はどれ(東国原、福田、天皇、国民)
 天皇は「象徴という地位」についての誰のおかげ?
 2, 基本的人権・・・第3章を読む・第3章の中で、気に入った自由・権利は何
 3, 基本的人権・・・気に入った自由・権利を使おう

- ⑥, 第2章 戦争放棄(1時間)世界の平和・日本の平和、自衛隊と米軍、軍と国民
 ⑦, 政治の仕組み(4、5、6、7、8章)(1時間)内閣と国会・裁判所・地方自治
 ⑧, 最高法規とは(1時間) 国民と立憲主義

* (3) 本時の計画

	学習活動と内容	留意点	教材
導入	天皇と国民 1、発問(日本で一番偉いのは誰) 天皇・国民・福田さん・小泉さん・安倍さん他 2、主権者とは何?誰?・・・前文「国政は、国民の信託による。その権威は国民に由来する。その権力は国民の代表者が行使する。その福利は国民が享受する。」	カードに書く(章の名前) 前文 憲法第1条	日本国憲法 写真資料 カード
展開	発問=「主権者=国民のできることは何か。」 ・・・・憲法のどこに書いてあるか。調べる。憲法を読む。 天皇の地位の承認 国民は戦争を放棄した。国の交戦権を認めない。 基本的人権をもつ。永久に、不断の努力で保持する。公共の福祉のために使う。 国会議員を選ぶ。 国民投票をする。 ・・・・これらは、今後の学習の中で触れ、「最高法規」で総括されることになる。そのような見通しのもとで主権者についての最初の学びとなる。	カード(章の名前)を使い、全文を読む。読みながら、国民ということばをチェックする。(ただし、時間の制約あり。4章で終わるか?)	日本国憲法全文
まとめ	用語の確認 次回の予告	内容は臨機応変である。	